

平成19年3月29日

新中期経営計画「VALUE UP 21」について

武蔵野銀行(頭取 三輪克明)では、4月より3年間(平成19年4月～平成22年3月)の新中期経営計画「VALUE UP 21」をスタート致しますので、別紙のとおりお知らせします。

前中期経営計画「JUMP UP 21」におきましては、「収益力の一段の強化」「財務体質の一層の向上」、「営業基盤のさらなる拡充」に向けて、様々な施策や改革を推し進めてまいりました結果、お客さまとの取引基盤を一層拡充することができました。また、コア業務純益が5期連続して過去最高益を更新、自己資本も計画を大きく上回る水準に達することが確実となるなど、収益性、健全性とも格段に高まりました。

新中期経営計画「VALUE UP 21」は、前中期経営計画の成果を基礎として、次の計画期間を「新たな価値創造に向けた3年間」と位置付け、お客さまに対して付加価値の高いサービスをご提供することにより、お客さま満足度の向上を通じて当行の企業価値を極大化していくことを期して名付けたものであります。この計画を着実に遂行すべく、「**営業体制の抜本的改革**」「**人財・組織の活性化**」「**経営品質の高度化**」を最重要課題として取組み、「**お客さま満足度No. 1銀行、県民のベストリテールバンク**」として、埼玉県内においてさらに確固たる経営基盤を築いてまいりたいと考えております。

市場性豊かな埼玉県においては、今後も金融競争の激化は必至と考えられますが、引続き当行は、この「VALUE UP 21」のもと、県民の皆さまの真のベストパートナーとなるべく、たゆまぬ努力と強い使命感をもってお客さまや株主さまの満足度向上をひたすら追求してまいります。

報道機関からのお問い合わせ先
広報室 吉田
TEL : (048)641-6111(代) 内線 671



〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-8
<http://www.musashinobank.co.jp>

広報室

TEL 048-647-2718

FAX 048-641-6910

新中期経営計画の概要

名 称

VALUE UP 21

～新たな価値創造の3年間～

《名称の狙い》 お客さまに対するサービスの価値を高めることにより、お客さま満足度の向上を通じて当行の企業価値の極大化を目指すものであります。

計 画 期 間

平成19年度～平成21年度（3年間）

目指す銀行

「お客さま満足度 No. 1 銀行、県民のベストリテールバンク」

基本方針

役職員が一丸となって、お客さま、株主さま、地域社会に高付加価値のサービスを提供することにより当行に対する好感度向上に取組み、強固な支持基盤を確立する。

◎お客さま満足度No.1銀行の追求

◎持続的成長戦略の展開

◎スリムで強靱な企業体質の構築

基本戦略

1. 営業体制の抜本的改革

- ・CS（お客さま満足度）向上に向けた営業体制の構築
- ・営業店の店質に応じた効率的営業体制の確立と重点地域への経営資源の傾斜配分
- ・BPR（業務再構築）推進による営業店事務効率化の強力展開

（1）「法人」戦略

- ・新規事業所開拓及び貸出シェアアップ活動の更なる推進
- ・コンサルティング機能の充実
- ・外訪担当者の提案営業力、情報提供力など融資渉外スキルの向上

（2）「個人ローン」戦略

- ・住宅ローンセンターの営業力及び営業店との連携強化
- ・ハウスメーカー、デベロッパー等への積極的な深耕活動
- ・資産運用相談、セールス機能強化に向けた人財の育成、登用

（3）「広義の調達（預金・預り資産）」戦略

- ・お客さまニーズに応じたフェーストゥフェースによる営業力の強化
- ・団塊世代向け商品・サービスのラインナップ充実
- ・対面・非対面チャネルを活用したアプローチ強化による取引メイン化の推進

2. 人財・組織の活性化（人は最大の財産）

- ・外訪担当者増員と少数精鋭による内部組織体制の確立
- ・人財活性化に向けた人事諸施策の展開

3. 経営品質の高度化

- ・経営の各般に亘るITの戦略的活用
- ・バーゼルⅡ、J-SOX対応を含む内部管理態勢の強化
- ・CSRへの積極的取組み

計 数 目 標

16年3月期実績

19年3月期実績（見込）

平成22年3月期必達目標

・コア業務純益	197億円	230億円	285億円以上
・当期純利益	61億円	114億円	140億円以上
・コア業務純益ROA	0.68%	0.71%	0.75%以上
・コア業務粗利益OHR	62.04%	60%	55%
・自己資本比率	9.32%	10.3%	10%以上
・不良債権比率	5.19%	2.8%	1%台
<hr/>			
・総貸出金 [年度平残]	18,714億円	23,100億円	28,600億円 (+5,500億円)
" [末 残]	19,476億円	24,300億円	30,000億円 (+5,700億円)
・預 金 [年度平残]	26,488億円	29,300億円	33,400億円 (+4,100億円)
・預り資産 [年度末残]	1,292億円	4,400億円	8,500億円 (+4,100億円)

以 上